

第34回

# ごはん・お米とわたし

作文・図画コンクール入賞作品集



農林水産大臣賞 図画2部 「初めて見た稲の花」  
山形市立南小学校6年 會田 三郎さん



平成22年2月  
山形県農業協同組合中央会・山形県農協農政対策本部

# 第34回 「ごはん・お米とわたし」

## 作文・図画コンクール入賞一覧

(敬称略)

### 全国審査における入賞者

#### ○農林水産大臣賞

(作文 2 部) 齋藤 隼也 鶴岡市立西郷小学校 5 年  
(図画 2 部) 會田 三郎 山形市立南小学校 6 年

#### ○優 秀 賞

(作文 3 部) 白石みおり 米沢市立第一中学校 2 年  
(作文 3 部) 平山 美紀 山形市立第五中学校 3 年  
(図画 3 部) 鈴木 智佳 山形市立第九中学校 3 年

#### ○学校奨励賞

鶴岡市立西郷小学校  
山形市立南小学校

### 山形県審査における入賞者

#### 作文部門

##### ● 1 部 (小1年～3年)

山形県知事賞 伊藤南奈美 鶴岡市立朝日小学校 3 年  
山形県農協中央会会長賞 今野 杏唯 鶴岡市立大山小学校 1 年  
優 秀 賞 原田 真白 米沢市立西部小学校 1 年  
會田 空翔 山形市立出羽小学校 2 年  
押切 真依 最上町立向町小学校 2 年  
後藤 大空 米沢市立愛宕小学校 2 年  
押野 明純 鶴岡市立朝陽第二小学校 3 年

##### ● 2 部 (小4年～6年)

山形県知事賞 難波 葵 鶴岡市立朝日小学校 5 年  
山形県農協中央会会長賞 菅 瑞季 最上町立満沢小学校 6 年  
優 秀 賞 高橋 歩美 高島町立糠野目小学校 4 年  
阿部 杏香 鶴岡市立西郷小学校 5 年  
安部 航大 高島町立糠野目小学校 5 年  
近藤 舞 鶴岡市立西郷小学校 5 年  
山下 純平 最上町立大堀小学校 5 年

##### ● 3 部 (中1年～3年)

山形県知事賞 平山 美紀 山形市立第五中学校 3 年  
山形県農協中央会会長賞 白石みおり 米沢市立第一中学校 2 年  
優 秀 賞 遠藤 ゆい 鶴岡市立朝日中学校 1 年  
渡部 加菜 米沢市立第七中学校 1 年  
高橋 奏 米沢市立南原中学校 2 年  
山口 大智 南陽市立宮内中学校 2 年  
我妻 隆羅 米沢市立第四中学校 3 年

##### ●学校奨励賞

鶴岡市立朝日小学校  
鶴岡市立朝日中学校

#### 図画部門

##### ● 1 部 (小1年～3年)

山形県知事賞 丹波 優大 尾花沢市立尾花沢小学校 3 年  
山形県農協中央会会長賞 菅 佑菜 最上町立向町小学校 2 年  
優 秀 賞 伊藤日向子 鶴岡市立田川小学校 1 年  
廣瀬 佳那 尾花沢市立寺内小学校 1 年  
平井 堅太 高島町立和田小学校 2 年  
宮崎 泰成 鶴岡市立朝陽第二小学校 2 年  
西尾 文佳 尾花沢市立荻袋小学校 3 年

##### ● 2 部 (小4年～6年)

山形県知事賞 森谷 康平 山形市立出羽小学校 5 年  
山形県農協中央会会長賞 小幡 剛 尾花沢市立福原中部小学校 6 年  
優 秀 賞 海谷 有美 高島町立糠野目小学校 4 年  
佐賀井千里 鶴岡市立京田小学校 5 年  
高橋 捷 尾花沢市立明德小学校 5 年  
今野杏有子 三川町立押切小学校 6 年  
前田 和哉 鶴岡市立櫛引西小学校 6 年

##### ● 3 部 (中1年～3年)

山形県知事賞 鈴木 智佳 山形市立第九中学校 3 年  
山形県農協中央会会長賞 武田可奈子 山形市立金井中学校 2 年  
優 秀 賞 荒井瑛絵子 山形市立金井中学校 1 年  
田中 敦子 山形市立金井中学校 2 年  
阿部 浩宜 山形市立第九中学校 3 年  
岸 由麻 山形市立第九中学校 3 年  
三浦 彩希 山形市立第九中学校 3 年

##### ●学校奨励賞

尾花沢市立尾花沢小学校  
山形市立第九中学校



## ごあいさつ

## 山形県農業協同組合中央会

## 会長 今田正夫

「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクールに応募いただいた児童・生徒の皆さんに、心からお礼申し上げます。

また、入賞された皆さん、誠におめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

三十四回目を迎えた今回は、県内の小・中学校から作文四〇七点、図画九二三点もの力作を応募いただき、全国コンクールに推薦するとともに、県コンクールにおいても、山形県知事賞、山形県農業協同組合中央会会長賞、優秀賞、学校奨励賞を選考いたしました。全国コンクールでは、作文部門と図画部門で農林水産大臣賞を受賞するという素晴らしい成績を収めました。これもご指導いただきました学校の先生方をはじめ、ご父兄の皆様、審査委員の先生方、そして山形県ならびに各JAのご支援・ご理解の賜と心から感謝申し上げます。

このコンクールは、次代を担う小・中学生の皆さんに、古くから日本の食卓と国土を豊かに作りあげてきた稲作農業と、ごはん食と健康の結びつきとを見直してもらい、人々とのコミュニケーションをはかっていただくために実施しております。

今回の皆さんの作品は、身近な人とかかわり合いの中で、自分の生活をしっかりとみつめ、家族の思いやり・うれしさや家族や友達と食べるごはんのおいしさを感じたことが伝わってくるものでした。また、ごはん食や実体験を通して、稲作農業の果たす役割の大きさを知ったことなども、素直に表現されているものもありました。

これからも、日常生活の中にある本当の豊かさに目を向けてください。そして、それらを支えている多くの人たちの苦勞や努力を感じ、感謝の気持ちを忘れないでください。また、家族を大切

にする心、自然を大切にする心、生き物すべての命を大切にすることを育み、いつまでも持ち続けてください。

さて、日本が経済大国といわれるようになって久しいですが、豊かな生活の中で、多くの大切なものを失いつつあります。食生活の面からみると、食料自給率は四一%と、先進国の中では最低の水準にあり、いざという時、食べ物が足りなくなるとい状況が心配されます。また、朝食を食べないなど、食習慣の乱れや栄養バランスの偏りが特に若い世代を中心として見受けられ、これらは生活習慣病の増加や、命を軽視した事件の多発化につながり、大きな社会問題となっております。

こうした中、私たちJAグループは、農家組合員と、消費者のみなさんが一緒になって、これからの日本人にとって「よい食」とは何かを考え、行動していこうという「みんなのよい食プロジェクト」を立ち上げ、全国で取り組んでいます。日本人の主食である米をはじめとした日本型食生活の推進、食料自給率の向上、国産農畜産物の消費拡大、地産池消の普及や小・中学校の農業体験をはじめとする地域の特徴を活かした食農教育の推進に取り組んでまいります。

今後とも、食品の流通を追跡できる仕組み作り（トレーサビリティ）や、農薬などを抑えた環境保全型農業など将来にわたって安全・安心な国産農畜産物を提供するために一層努力をしてまいります。

最後に、皆様のご協力により、当コンクールをますます発展させていただきますようお願い申し上げます。ごあいさつとさせていただきます。